

キーメッセージ(仮訳)

国際交通フォーラム 2009「グローバル経済にとっての交通:経済危機下における挑戦と機会」において、交通担当大臣は、産業界、学会、市民代表者と会した。大臣間の議論から浮かび上がるキーメッセージは、以下の点の重要性を強調している。

- 効率的な交通システムと堅実な投資
- 市場開放に向けた進展の維持
- グローバル化の意図せざる環境・社会的影響への対処
- 交通への十分な資金の確保と限られた資金用途の優先順位付け
- 信頼でき、安全なサプライチェーン

効率的なグローバル交通システムは、景気回復において重要な役割を果たすだろう。交通担当大臣は、世界の経済の低迷が交通分野に与えている影響の深刻さについて懸念を表明し、交通が良好な経済や社会の繁栄にとって欠かすことのできない必要条件であることを強調した。交通分野における投資は、厳格な評価を基に優先順位付けされ、迅速な実施が可能で、持続可能性という目標の達成に貢献するものであるならば、よく設計された景気刺激策の重要な構成要素となり得る。

貿易と開かれた市場は、世界的な景気回復への鍵となる。保護主義的な政策は持続可能な解決策ではない。開かれた市場は、経済と市民に大きな利益をもたらしてきた。現下の経済危機は、グローバル化や国際分業化の進展という流れを逆行させることはないだろう。公平性を確保し、質、安全性、環境基準を向上させつつ、市場開放と競争の進展を持続させる必要がある。

交通分野における景気回復は、環境の観点から持続可能なものであるべきである。コペンハーゲンにおける国連気候変動枠組条約締約国会議(COP15)及びIMO、ICAO等その他の機関での合意は、交通からの排出緩和に係る国際的な取組を強化するとともに、2008年国際交通フォーラムの結論に立脚するものでなければならない。各国政府は協調して、将来的な課題や市民、産業界及び国際社会のニーズに応える、費用対効果に優れた低炭素で持続可能な交通を促進することができる。

交通分野においては、高水準の長期的投資を確保する必要がある。交通インフラの計画と資金調達に関する政府の責任を認識しつつ、民間投資や官民パートナーシップの重要性が確認された。政策決定を支持する確かな証拠とともに、十分な分析が、グローバルな交通システムへの投資に根拠を与えるべきである。

国際的なサプライチェーンは、安全で信頼できるものであるべきである。連携の取れたリスクベースの規制は、経済及び安全面の利益の費用効果的かつ公正な確保を確実にするために不可欠である。国境検問を改善することは、効率性を高め、貿易を促進する大きな潜在性がある。

交通担当大臣は、国際的に協調した取組を継続することを決意した。ITFは、そのための重要な議論の場を提供する。現在のような困難な時代は、持続可能でより効果的なグローバルな交通システムに向けた発展を刺激すべく、政策、システム及び技術を再考、再検討し、改革する好機である。イノベーションは成功への鍵となるものであり、交通担当大臣は、これを 2010 年のフォーラムの主要トピックとすることに合意した。